

出願要件

選抜種別	一般選抜	特別選抜	
		社会人推薦	学内進学者推薦
出願要件	次の各号を満たす者 ①学校教育法第90条第1項に規定する入学資格を有する者※ ②看護師資格を有する者、または入学時において看護師免許取得見込みの者 ③女子に限る	次の各号を満たす者 ①学校教育法第90条第1項に規定する入学資格を有する者※ ②看護師資格を有し、出願時において山口県内の医療施設に勤務し、施設長が推薦する者 ③修了後は、助産師として山口県内の医療施設に勤務する意思のある者 ④合格後は必ず本学に入学する意思のある者 ⑤女子に限る	次の各号を満たす者 ①山口県立大学看護栄養学部看護学科に在籍しており、出願時において看護師免許取得見込みの者で学力、人物ともに優れ、学部長(学科長)の推薦が得られる者 ②合格後は必ず本学に入学する意思のある者 ③女子に限る
※「学校教育法第90条第1項に規定する入学資格」は、「大学に入学できる者」の条件について規定しています。			

アクセス



お問い合わせ先
 〒753-0021 山口県山口市桜島六丁目2番1号
 学生部入試部門
 TEL. 083-929-6503(直通)
<https://www.ypu.jp/>

いのちを育む Specialistへ



2023年度 別科助産専攻のご案内

入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

本学が求める学生像は次のとおりです。

01



助産の基礎を学ぶために必要な看護学の知識と技術を身につけている。

02



看護職としての論理的思考力、問題解決力、表現力を身につけている。

03



他者の多様な価値観を尊重し、自らの行動に責任を持ち、協働して物事に取組む力を有している。

04



助産に対する課題に関心があり、山口県の母子保健の向上に貢献したいという意欲がある。



多様化する社会に対応できる 助産師の育成を目指す

教育理念

地域の周産期医療及び母子保健の発展と向上に資する専門職としての知識と技能を有し、助産及び女性の生涯にわたる健康保持を支援できる実践能力を備えた自律した助産師の育成を目的とする。

取得資格

助産師国家試験受験資格
 受胎調節実地指導員申請資格
 新生児蘇生法「一次」コース(Bコース)修了認定申請資格

専門実践教育訓練給付制度

別科助産専攻は、厚生労働大臣から専門実践教育訓練給付制度の対象として指定されています。

給付額(一例)
教育訓練経費の50%
 (年間上限40万円)

※教育訓練給付金を受けるためには一定の条件が必要です。なお、上記以外にも更に支援するための制度がありますので、詳細については、ハローワークにお問い合わせください。



カリキュラム

区分	授業科目名	単位数	
		必修	
助産の理論領域	基礎科目	助産学概論	1
		周産期学Ⅰ	2
		周産期学Ⅱ	2
		生命倫理	1
		母子と健康	1
	演習	助産文献講読	1
	助産研究演習	1	
助産の実践領域	専門科目	助産診断・技術学Ⅰ(妊娠)	1
		助産診断・技術学Ⅱ(分娩)	2
		助産診断・技術学Ⅲ(産褥・新生児)	2
		助産診断・技術学演習Ⅰ(助産実践演習)	2
		助産診断・技術学演習Ⅱ(健康教育)	1
		助産管理論	2
		地域母子保健学	2
	実習	助産学実習Ⅰ(妊娠)	3
		助産学実習Ⅱ(分娩・産褥)	5
		助産学実習Ⅲ(継続事例)	1
		助産学実習Ⅳ(ハイリスク)	2
		地域母子保健実習	1
		修了要件(助産師国家試験受験資格取得のための所要単位数)	

修業年限・募集人員等

修業年限	入学定員	選抜区分	募集人員	
1年	12名	一般選抜	6名	
		特別選抜	社会人推薦	6名
			学内進学者推薦	

※特別選抜で合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分は、一般選抜の募集人員に加える。
 ※「特別選抜」と「一般選抜」の併願はできません。

入試日程

選抜区分	出願期間	入学試験日	選抜方法	合格発表
特別選抜	2022年 9月27日(火)~ 10月5日(水)	2022年 10月15日(土)	小論文、面接	2022年 10月24日(月)
			専門科目、小論文、面接	
一般選抜				

入学試験料・入学料・授業料

入学試験料	入学料		授業料(1年間)
	県内生	県外生	
18,000円	84,600円	169,200円	535,800円

※2022年度の金額です。今後改定になった場合は、改定後の金額になります。
 「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が2022年4月1日から引き続き山口県内に住所を有する者をいい、「県外生」とは、県内生以外の者をいいます。